

令和2年度学校運営協議会の実績報告

学校名

岐阜清流高等特別支援学校 校長 青山 孝

所在地 岐阜県岐阜市芥見南山 3-11-1 電話 058-243-0710

1 協議会の名称 岐阜県立岐阜清流高等特別支援学校学校運営協議会

2 開催日時 令和2年10月22日(木) 10:00~12:00

3 開催場所 岐阜清流高等特別支援学校会議室

4 参加者 委員 清水 達郎 芥見南自治会連合会会長
伊藤 知子 株式会社十八楼女将
大倉 美江 すまいる工房株式会社代表取締役
林 武 岐阜県老人福祉施設協議会副会長
五十川 勝也 芥見東身体障害者福祉協会会長
佐々木 ひなゑ 芥見東自治会連合会会計
土屋 明之 障がい者芸術文化支援センターセンター長
塚原 公乃 岐阜清流高等特別支援学校PTA会長(ご欠席)

学校側 青山 孝 校長
服部 秀明 教頭
山田 理嗣 部主事
下野 修 事務長
横田 真 教務主任
三橋 正康 生徒指導部長
北川 百合 進路指導部長
吉田 徹 保健安全部長
齋藤 律 支援部長
磯村 明日香 渉外部長
長尾 健太郎 1年生学年主任
伊藤 大輔 3年生学年主任

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 令和2年度学校経営の目標に対する前期の取組状況について
- 卒業後に企業就労し、社会の一員として活躍できる力を身につけるため、実践重視の教育を推進
 - 卒業後に自立した社会生活を送るため、トラブルやリスクから身を守る教育を実践
 - PTAや地域等と連携し、学校における危機管理体制を強化
 - コミュニティ・スクール制度を活用しながら、地域との交流事業を充実・強化
 - 学校から企業に、障がい者雇用の推進と雇用環境の改善に向けた働きかけ
 - 職員の意識改革を推進することにより勤務時間の適正化

○積極的に保護者と意見交換を行うことにより風通しのよい学校環境を確立

意見1：コロナ禍において、現場実習の受け入れ等の状況はどうか。

回答→ コロナの感染状況により、実施時期を変更し現場実習を受け入れていただけた。

意見2：現在、Café Seiryuは校内のみの営業としていることはやむを得ないと思うが、地域住民は早期再開を望んでいる。

回答→ 地域の方々に来店いただきたいとの思いはあるが、当面は校内のみの営業である。

意見3：卒業生の就労状況はどうか。

回答→ 現段階で離職した者はいない。定着支援を行っている。

意見4：働き方改革は進めてもらいたいだが、職員間の生徒情報の共有やコミュニケーションの時間が少なくならないようにしてほしい。

(2) 学校評価について

○生徒対象アンケートの結果

- ・全21項目の質問に対し、肯定的な回答（A：よくあてはまる、Bややあてはまる）の割合が80%以上の項目数は、18項目あった。
- ・前年度と同一の17項目における肯定的な回答を比較すると、16項目で前年度の割合を上回っている。
- ・否定的な回答（C：あまりあてはまらない、D：まったくあてはまらない）の割合が30%以上の項目はなかった。
- ・以下の項目で、肯定的な回答の割合が高かった（85%以上）。
 - 項目4「学校の先生は、自分の将来のことなどについて親切に相談にのってくれる」
 - 項目10「学校の先生は、生徒たちの教育に熱心に取り組んでいる」
 - 項目13「学校の先生は、注意をするとき、生徒をたたいたりなぐったりしない」
 - 項目16「学校では、先生と生徒が信頼し合って活動している。」
 - 項目21「学校の先生から役に立つアドバイスをもらっている」

○保護者、学校運営協議会委員対象アンケートの結果分析

- ・全30項目の質問に対し、肯定的な回答の割合が80%以上の項目数は、24項目あった。（すべての項目で70%以上）
- ・前年度と同一の26項目における肯定的な回答を比較すると、すべての項目で前年度の割合を上回っている。
- ・否定的な回答の割合が20%以上の項目はなかった。
- ・以下の項目で、肯定的な回答の割合が高かった（90%以上）。
 - 項目1「学校の教育目標や指導方針の内容に共感できる」
 - 項目3「学校では、先生と生徒が信頼し合って活動している」

○成果と課題

- ・アンケート回収率は、生徒対象アンケートが95%、保護者・学校評議員対象アンケートが95%であった。
- ・学校運営に対しては、おおむね肯定的な評価であり、職業教育を柱にした本校の取組や教職員の指導に理解が得られている。
- ・より学校と家庭が連携して、生徒の自立をサポートするため、一人一人の生徒及び保護者に対して丁寧に進路に関する連絡や情報提供を行ったり、日常生活等における生徒指導の取組を伝えたりしていくことが必要である。
- ・開校から3年が過ぎ、これまでの実践を振り返る中で、継続して取り組むこと、改善が必要なこと、新たな取組が求められていること等を整理し、学校運営を進める必要がある。

意見1：おおむねよい評価であり、先生方が熱心に指導されている。

意見2：生徒が学校に行くのが楽しく、活気のある学校づくりを今後も推進してほしい。

意見3：今後はwebによるアンケートの実施を検討してはどうか。

(3) 令和2年度の資格等の取得状況、部活動等の実績、3年生の進路状況について

意見1：昨年度に引き続き求人票を出してもらえた企業はあるか。

回答→ 8社から今年度も求人票をいただいた。

意見2：卒業生たちが社会で活躍することが、後輩たちの進路につながっていくので、卒業後の支援の充実をお願いしたい。

(4) 専門コース製品の価格設定について

○工業コース、食品コース、園芸コースの各新製品の価格設定について

- ・工業コース：カッティングボード、チェスト型オブジェ等
- ・食品コース：中華丼
- ・園芸コース：フラワーアレンジメント

意見1：現在はコロナ感染拡大防止のため、パンや弁当は校内のみで販売しているが、注文販売など接触を避ける方法で地域に販売することができないか。

回答→ コロナ感染対策を行い、地域の皆様に食べていただけるように検討する。

6 会議のまとめ

第2回学校運営協議会では、学校経営目標に対する前期の取組状況について委員の皆様を確認していただいた。また、学校評価アンケートの結果に基づき、今後の取組に向けての意見をいただくとともに、部活動等の活動状況や3年生の進路状況について確認していただくことができた。専門コース製品についても様々なご意見をいただき、価格設定を承認していただいた。